


12/ 7  
(水)

## 「税についての作文」優秀賞 税について理解を深める

鷹巣中学校（瀬戸口浩司校長・127人）3年の割地由来さんが、中学生の「税についての作文」で南九州地区納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞しました。

これは国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が毎年募集しているもので、税について関心を持ち正しい理解を深めることを目的に行っています。

今回受賞した作品は「生きた税の使われ方」という題材で、身近に感じた税について疑問を持ちながらどのように税金は使われるべきかを書きました。

優秀賞を受賞した割地さん（写真右から2番目）



割地さんは「優秀賞をいただいたことはとても光栄。文章を考えながら税の使われ方について理解が深められた」と話しました。

12/ 9  
(金)

## 鹿児島県優秀教職員表彰 今後も精進したい

11月22日、川床小学校（松永貢校長・109人）の小宮路伸也教諭が、鹿児島県優秀教職員表彰を受け、12月9日に大浦慶子教育長へ報告しました。

これは学校教育における教育実践などに顕著な実績のある教職員を表彰することで、意欲や資質能力の向上を目的に行われています。

同校では職員の意見を反映し、学習・生徒指導のための情報交換や教材研究の時間確保を記した日課表の作成など業務改善に努めています。

表彰の報告をした小宮路教諭（写真中央）



小宮路教諭は「同校の先生がたと協力して取り組んできたことが評価されてうれしい。今回の表彰に恥じないよう今後も精進していきたい」と語りました。

12/12  
(月)

## 更生援護功労者県知事賞を受賞 社会のために役立ちたい



川添町長に受賞を報告した千年原さん（写真中央）

11月24日に開催された令和4年度鹿児島県障害者保健福祉大会で、千年原孝さん（山中）が障害者更生援護功労者県知事賞を受賞し、12月12日に川添町長に報告しました。

これは長年にわたり障害者の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著な方に贈られます。

千年原さんは平成18年から町身体障害者連絡協議会の会員を務め、同会会員の自立と社会参加を促進することに貢献されてきました。

今回の受賞を受けて千年原さんは「支えてくださった皆さんのおかげ。今後も自分の健康に気を付けながら、社会のためにひとつでも役に立ちたい」と話しました。